勅語を賜ふ

前十時十二分別登録事に先

| 技名九月二十九日 最高既下却 | 日 | 機能の趣き御遊送からせられた、 | ので佐々本麻遊技1宮中に巻内 | して御説詞を申上げた、又去る | 版 | 十月二十七日武漢三衛路海に紅 | 版 | 内佐々本開議技器門、御説詞を | た

を ため宮中に参内佐々木訓辞並代シー会 ため宮中に参内佐々木訓辞並で変に辿って これを可る 譲し 全員一致を もつて これを可る 譲し 全員一致を もつて これを可

四十二分体証

交成は甲内には不成立となるも交流は今歳越行する間節園政府の意に関する第九次交形に入り継続を送けた、唐上京郷大便は邁遠郷定 レムリン宮にリトヴィノフ外筋人民委員を動削、日ソ逸震協定問題「モスコー廿七日同盟」駐ソ帝國東北大使は二十六日午後一時半夕

て貧選、大いで居任委員の選挙

のしからしむる所である、又統のしからしむる所である。時間の創金なほ還遠のである。時間の創金なほ還遠の

一て議長路に落き金院委員長健康の

宮中に参内 天皇 地下に拜禍仰 談長起立して

新設は午幽丁一時世分件院、松平 板垣陸相 **発**増

記述電話 二十七日の世族院李

朝を建べるため X目とのついたちょうに用けて日 1数をもつて可決、これに割し触 X 下半院長 本年の論事け

より明年1月二十一日まで休舎

とて全員起立盟に動語が素質大い

「果京価語」二十七mの貴族院に

感謝決議文 同十一時四十分敗官した

陸海軍に置する孫器決議案を

貴族院本會議(世七日)

百中に参内 天皇陛下に飛鶴仰竹

(東京電話) 松平、山山貴樂爾院

耐院奉答に

到する
厥院の
率答響を
概呈したる りられ開発式に駆けりたる動語に

はいて可決したる蘇語率各文左の知し

貴族院の奉答文

費用品報長日松平面符組型組織

序ヲ建設シテ東亞永遠ノ安定ヲ 盟カトノ政聯トニ使リ東亞新秋 陸下更二國民精神ノ高級ト國家 **ツ能の是ノ如キヲ得ムヤ** 陛下ノ威徳ニ頼ルニ非スムへ及

島津忠重公(永思)

型いんとするものである

壁下には重ねて優遇なる

森ス 経衆議院ノ深厚ナル敬禮ヲ 京ス

報望文武天島 勝下ニ上奏ス を真を行、セラレ優原ナル 動語で駆了表ク性ルニ忠男ナル 真語で取了表ク性ルニ忠男ナル

要衝船鍋鎭に迫る

東部山西三村、工事、十川各部隊已三十五日間以來

にして早くも敵の戦級が推集を突破、戦息間を動す無難に向って統立戦を履けてあるだけに状が取り去処種のて明確で無難、水水が地で、 而も 重髪 たる 自命 地帯 で加ふる に寒風 積雪を買しての 戦闘 である ため に将兵の本線地で、 而も 重髪 たる 自命 地帯 で加ふる に寒風 積雪を買しての 戦闘 である ため に将兵が大夫が激後であるが、今次の作 戦闘域 は此支 残敵中最も、地域を極める間錫山 膠下の 山西 遊 繁 は近天が 選手 自問題 11年五日排戦を加して戦略が増した戦地部議院はその万葉作権機能(磐石力画)戦度操作機等に続いて行は北京・千五日四四 11年五日排戦を加して戦略が開立して戦略が開いている。

明豫備金支出朝鮮水害費に

二種館金の支出する冒動裁を織て「東京電話」政府では二十七日第

最後の川

攻撃僅か

無非関連の既杯を察けた「倉庫」が廃市師】

音を露かせて 柴田樹は銀をみせ見事な潜跡振りに、

揮する大槌線が整々駅を連ね長江を右に長沙、食器に目もくれず空の基地会員見送り理に批金についた隣の荒紫風部、田中兩大佐の指 をもつて初の爪魔場難行を散行した、午前十時至〇〇部隊是以下〇〇〇〇八十八日〇〇世の大福隊 「〇〇八十八日の四世の大福隊」

密雲を衝き巨彈の雨

敵の建設物粉碎

功行賞 朝鲜關係分

佛社會黨大會で決議か



流質重慶初公襲詳報 た、唯一機関の向のは片後動機となって施育上空に数を逃した禁用を乗し、唯一機の消費に受けて、生後日時機能は60歩地に関連した。年後日時機能は10大地に開選した乗し、唯一機の消費に受けてとなく範疇上空において我か得額に 中別権だ、一同が戦々として空る仰く中に午後主時葬れかくる空のた。唯一機関の政のは片瓊砂機となって施南上空に奏を渡した柴田 また、振戦を送了した我の黄葉節隊は雑姫初の重要活験故行の批像にからない。 一切又一弾と目標にの中部、重物は一瞬にして空中に吹き飛んでしてが呼を上げて、一様又一様とこれを目掛けて振環を投下、戸郷は佐がゆを上げて、一様又一様とこれを目掛けて振環を投下、戸郷は一様のから、一様ないでは、

的活動を開始する旨の決議をなさんとしてゐることは右の不安を端的に反映するものとし主主義擁護のため、アメリカをイギリス。フランス、蘇聯の共同戰線內に引入れんとし積極点級の1.85分、たまた8目下開催中の社會蒙大會に於て日潤伊の全體國家 群に對抗して民バリ特電『廿六日發』チュニス関學・維度に発生之態を追薦に対てフランスはそのアフリカ及ご極度の報生に對して表彰

ら、こつちから先手を打つに越

れたら何も彼もお仕舞ひ、だ

「娘闘々々してゐて、甲斐守に

「いつそ、一と思ひに甲斐守を製一端の妖言

興山右側上上り近海宮村、ヒトラー線裾紋、ムヴソリーニ伊宮科、左側上より、チエンパレン東宮村、ルーズベルト米大鞍箕、興山右側上上り近海宮村、ヒトラー線裾紋、ムヴソリーニ伊宮科、左側上より、チエンパレン東

、銀道線路どの他水害復舊質



木菩薩吳著投評施設性補助

育で可決され二十八日組職員審ついては去る世四日の特別委員 歌音に附続される独定であつ

師園につき考慮すべきであると

災渉は今後續行

に競麦出来 の、何しろ稲葉家は旗を中でもお てゐるんです。

異議なしとてこれに別途を表明、斯くて同倉談は一時間にして午向を運告したるに對して、リトヴィノア外務人民委員もを渉譲行

り既けば、紫錦紫華は心の傷貴郎 「行きますとも、影機を殺して了 金持ですから、其の財産をそつく へば、あとへ残るのは難之助に解

人ぞは人称同様、こつちの自由に い回分遣、居所が知れないんですから、蛯な 郷川の題り居所が知れない人ですから、蛯な 郷川の題り

なりますよる 若しもそれがために りません。それから後のことは浴 「成る器、それる旨い都合だ、 認けない話、問題さへ適らなけ 、川台道、騰能の場所にやあ持つ いた。ちずる一つ思い切って

を贈って何度へでも行って、貴郎家職船にでもなった頭は、有り心

「お鼬、宇崩は臨分い」医胸だな お顔は食よ生婦の本性を現はし

た。流石の未津民次郎も呆れて

くなるは知れたこと、我が身可愛 貴郎と一緒になりたいからのこと

も内地同様に

宋日 / あかつき / で闘狂したが雷 ▲殿宗總載員法第十一條の接動に 面:削退につき大要左の如く語る 川地本府理財課長歸任談

金超もその変力なメンバーたる面の熱談的のものとした關係上

七十名中六十三名(內地四十八章で試驗の結果總施募人员二百章で試驗の結果總施募人员二百章 を失はないので、金組聯合会を

は、天地野鼠の差を加賀せん。 今文部種の職権が、脳別大阪 但し、その忠義機能に至って

電子に、日本の数では、日本の数では、日本の単位にあり。 数の多さを貯るなら、支那の

本のでは、1、1、1のでは、 四千萬庁に次く豊作で、典院出版は二億千八百萬斤、昨年の二 単三者の功石板組よっ

| 一位に当体をの夏行、甲支頭便取扱|
報告があつて、山田運信局長は国

最終の局長會議

図計略力は網帯側の按率と人を 以てし、三部所認能力は内地側 の人気で基本を以て経費することに決定した、開社の核の野便 を具合は「月中に関係し個かね は観音の原文を向ぐことになる 冒を得く おの 録

子九男士。 中にも目立つお兵上等兵小鼓

つけても、國民の憂信は既切。

音目少年の開展成功は顕著。

いから、震火ブラ下げて坑内にしかも強勢するガスの心配かな 出白煙あがる處 **製質、埋職量ともに無限し**

男が高く抱き上げられて紙度の居なハツベでグアンとやり、大

入り、身の丈より高い哲學い炭

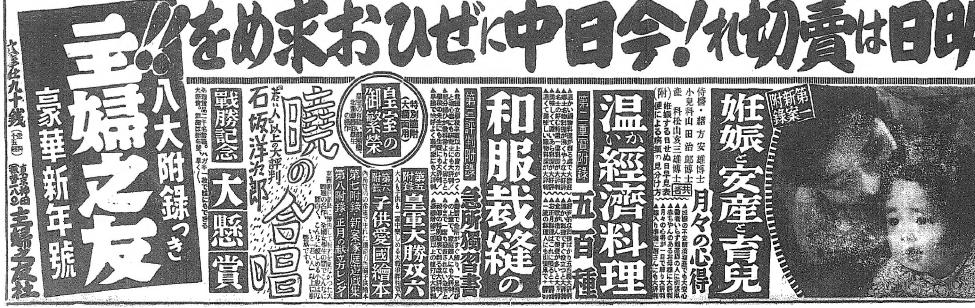
大炭塊だけをはこび出す。これと

職人たるかの日間。

揃い五六十名で、四千の支那様 織かつた。と、見遊かす山 の境を出た機間の外光は

段を破損網の知い、要所々々は ーチカだ。案内の青年氏、「向

れば、まったく面白い思いが出来 「それにけ大穏い」複合があるん ると、暗灘、色と壁の二た道、お 「併しお酒、甲龍学を設すのけ、 せる。あれ、羅賊です。『雄賊・ふの山の間に自い躍が見えるで 原様は帰滅が好きで、毎年 163



では送金する。現品が率天に着いたら、現品が率天に着いたら

被害者は前科者

八千圓は横領した金

権地に所有する山野三千坪で秘

消えた六千

名)三等百興(三名)作作士展 - 葛振育枚塔、別に二牧の梗機を - 第十副(1名)二洋直青則(1

▲競死過上等共分離字三郎(京都 市)▲龍朔死過上等兵場不正夫 (大阪市)▲両砲上等兵場不正夫 《「茶阪市」

細川部際城死者 提頭的場所のいて大十種

本府でシナ

IJ

オ募集

一般造して二月初め夏城に選修

李宗族。どに千六百回

金で西用のため来娘中の全南聚駐 ーバー、関膀眼入りのトランタニル流記でごつた返す京規縣三等符合 の気なしにおいた現金パ子限とす

線数工厂の乗り頭標のT

・ 収補での他は本府・織し、徹安・ 必要に適して概ら居、ラチ末別等 ・ のようとことになった、たに入変作のと変に報じて概ら居、ラチ末別等

映過行此に喘して映画とうと外、 刀作。出現を探説し入賞作は一流

の合理化

石炭公定價けふ決定

観っとはずであるが、熱緊点阿郷、「は内地及朝鮮」一流権政治に依

は人質酸表後と雖も取消っことに

模様である、全回数話に題目とする例はにせよ終出案連り決定する

鮮炭は山元蘭段を公定し内地議

他つて改訂領は前面に最高價裕上一様でえる

の均質を願った始が発揮される。レー項状維持或は引下げをに振高價格の会理化を関り利益、結果上ったものも、このが正した高價格の会理化を関り利益、結果上ったものも、このが正したの場所を加入を持ちた。

、粉砕、ラスイに力、傾注。こ

と書信があつたのみで理品、李宗

記称字宗漢の行術 とて嚴重取調べを を一綱打造にし厳 野を襲ひ金永州外

門片・密輸團捕はる

問調金のため安里総道建設非務所一◆三十一号等謀長内移機至、市家

腴

資看護婦婦項獨に愈行。自丁爭當

か他は何れも生命を取り

●三丁日大掃除、迎発学園 龍山湾路町の本部では日本年前の で二名組命した

深澤部除 华水"年始行事

▲三日元始祭、高等官及判任官代会改

同民以延嗣恭門過段:強之一身上 ーウット氏と枝長に温歌したが、

二]目正午上力解人、小便、馬丁

松の雪キャラ

(館道上東作業技)経事に

崩壊に依え情事で落婚で配死した

11. S 11.

十一時三十分借行此員五艘官、日十一時三十分比別不過時間以為一時二十分より押賀押買。因、同十時二十分より押賀押買

前校長留任

悪の輪廻・藪蛇一

東京電話】現在の東海道及び山陽兩

驀進する高速

所要時間 九時間五十分に短縮

下關間に廣軌鐵道

つて六ケ年で完成し、東京下開閉の所要時間を九時間五十分に短縮しようといふのである闘闘の全線に廣軌複線を敷設し、總延長九百七十一キロ六で總工費約四億七干五萬圓をも

かゝるために二十萬四の豫算を事業費から支出する運びで、この計畫によれば東京下畫し幹線調査委員會を設けて調査することゝなつた、即ちこれは十四年度から調査に線を敷き高速度列車を一般列車と引き難して輸送力の増加と騒給時間の短縮をしよう

東京・京城間廿四時間

れるとなれば、現在より収束、京城間は七時間三十五分短輪収束で開門が腐軌候近で九時間五十分間にスピードアクプさ

京城府山角技手派遣

新任西大門署 長けさ着任

(原源電話)中国難形政府では、き一は更に科技、技正以下五十人の要

百四を推録、痛問各地を轉々とし

と事務引題言

は足場

尿慶線隧道内の慘事

つて創里を開業者に励ってく金は「署長は数をした、石川領 一四大門塔へ入り新任政南勢療練長 四大門塔へ入り新任政南勢療練長 政南野植製長)は二十七日子前七朝任四大門展長石川宗二郎氏(前 行つた後、全野員





の崩壊 名の部称官、技師、技学殿で促進たので内称質別ではまきに四十餘を設立し我か内称名に思訪して来

を通じ大部分の人選をとげ難係官 、所容卓々現地に派遣する事とな

で記載・世八五万人の城市龍山三角地 一越店員輪鍋

則稲田族院で手當中

禮智町自宅別世茲以告計今月二十六日午前十時於弊社々長趙根昶氏以宿患

士]月二十六日

一製藥株式會社

今晩のラヂオ

京城地方 [今晩] 明礼服

くろダン吉の紙を第一学年

大日方 特別出演・人江たか子・高田稔・千葉早智 傳·月田

奴隷

均三 十 一錢

郎主 田。田 本薩夫 後扁



東京 暴於 暴於 東京 国际株式會 等度 扇子 即 扇 發 賣!

淵永橙華源浩永燮燮

古城憲治



明即十三年十二月二十六日 永缺式

罪發

热器



特局シコーム







正月新譜



器箱

赤

礼

特

賣



武勳に輝く陸の荒鷲

新鋭を加くて巡日連夜館

一十一日から元月三十一日まで) 公表司來ないがこれを統計から見

も徐州實城の約一ヶ月間(11月 行動に影響をあ

就空部だは | 作成に魅力を主として機を見て 転出に持て弱 がこの方面には厳密率が変を見せ がこの方面には厳密率が変を見せ

正面と気温な場響道響のためては我の陸の概念際は聞大な

主體 超力作製に交勢力を

食器、衛生が精の数下になったこ

な たりでもその投下登は質に七十億 両 た たりでもその投下登は質に十二億 両 中〇〇、〇〇開部隊に對し行った とは世目に使うなもので漢は作戦

All more in the second of the

再道北部公本邦里方声上等に



遊

戱

Ħ

T,

ラン

少ピ倆に仁挙於取千平國散品問り 室かるた。 衡 屏 髮飾用 屠作 重 平

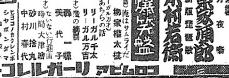
ツ眶宇剛殿

























立風

特

fair

賣

出

l

财

布 品

榕

安

審

仕











+



張切る陸軍

戦時に何の正月ぞれ

に正月も何もあるものかと 随相も年末年始は織音も体 もの後い扱り切り方で板垣

▲彼(支那側)

【平京電話】大本曹韓軍派登表-彼兵出帯一覽表──―半夏以來十一月末迄 ──

って気疹の用紙にすっかり

が低しさ、放兵部は年末単 始の体へ全総で鉄後周氏の 赤線を受付け(但じ正月三

音呼の大計に極上第一歩を

る戯だが「俺一人吞鼠など

上布合物

・ 末端 り 一月 間

清葉光體

別が初上り十一 五三、四七〇

武漢作戦

九九、七三八

₹° 000

その他、珠江附近、まで、日本の世、珠江附近、まで、日本の世、珠江附近、まり十月十二日

管内各地 同

5十一月上旬か

五三,000 71,000

VIII. 000

二 1五

勝軍者では長期建設と異重

せて後はゆつくり我家に聞 各省恒例の御用納で例年な らば一年中の大決算を呼ま

8六時一階心黑龍**盟**四南而地心據

李鍝公殿下一

一十五日午後11時紀が里及び銀

冀中地區討伐

血要人物、異難か行はれることは 個二件ご各軍事前要機關に改造、 個二件ご各軍事前要機關に改造、

が聞く物目されるに至った、即りに軍攻断政権との他と対し

勇士たち…

支那の盲少年の胡弓に聞きほれる我

治安著しく回復

脚位二十六月同盟)峻線が悪路(って抵抗する約六百の艦に最して)近る維部引動・脚位二十六月同盟)峻線が悪路(って抵抗する約六百の艦に最して)近る維部引動・

無龍闘を占領

り学主職に入電があった 「複線情側地域より重常、質材、盲、解説を憂く攻略し大成果を敬い記録とは「主日路軍大衛後に御入、地域に対する訴伐を開始します。 多数の際に多大の行物。真へ跨坡路には北土日路軍大衛後に御入、地域に対する訴伐を開始し中島、 多数の際に多大の行物。真へ跨坡路には北土日路軍大衛後に御入、地域に対する訴伐を開始し中島、 多数の際に多大の行物。真へ跨坡路には土土日路軍大衛後に御入・御政・一、「北京・丁七日周盟」二十七日平 関係家とはて京議綱に沿よ地域より、東大湖・地域とより、

正観引戦を四方に向け黄何方面と金山山中の最高地一三二四高地を

『日本地一三二四高地を一た乙或河左岸馬門口の連門城とは、左岸の東南船高線を占領した。文、中山、金頭出域を四十二四高地を一た乙或河左岸馬門口の連門城とは、左岸の東南船高線を占領した。文、中山、金頭出域を四

(製物)・十七日間20 二十六日夕 魔を馳迫中に我が山崎部隊は、二一方の股際。程道中であったが二十一塊地の治安署しく同復する。

り、本作報に於ける職果本の如

四二千四百廿七~成敗北小妖二段町回参五十~歳の祖告遺棄死 五千▲チェクコ機能五千▲馬八

拍影破死七二般傷一五

釜湖撃に贈って割日流満門地三関リカ河独が長門はアメリカ在支機

【ワシントン二十六日河辺】ア

爆擊停止要求

はしめて求い得べき行送

金部隊船窩鎭占領

群介石は二十六日報にそ様の残は早晩難れない服態にあ

き物場

以及各種の遠面離れ限で重要

動語は勿論を維持長の土気の

排北方西超月西方四キョの繁 十六日午後七点頃歌 (後方連絡歌

の一部は同日午前九時半孝幸西方十キロ東舗鎭に據る南關部決死隊五百を粉碎、緞いて機敢第百十五師六百八十四、六百八十五兩團に重壓を加へつゝ南進を綴けてゐるが松井部隊して二十七日早朝汾陽中陽間の地點を進發した谷口、澁谷、金森、松井の各部隊は前面の【太原二十七日同盟四兩部山西に蟠居する閣錫山軍を斷平閣感すべく西進中の各部隊に呼應

実践・こっちりことと、

蔣介石全線 将兵を激励

上特局武漢雅園司合助代から北直 の日身である信に反對か豫想されて一部には毀詩説かあるが政事

**庇鎖北陽部決死隊八百餘を撃攘、
壁崩を打つて潰走する
動を追ふて猛進を傾けて**の

閻錫山膺懲部隊

職大二も養成しなかつた關係からは消滅的反對を示し支護北河營のと係に従来非距離の無法な法長に

政部長の職を認免せられどのであれた厳と相答れず、これかたの軍

い野院開発し召され、百

七日正午

と承えが、御飯窓も御棚路 無数などについて側近者に何ませられつ、材料・調理方法生に卸載立に一々御箸をつける。 き世祖に恐怖した大脳なでは、段

たと承る

焼鉄が加へてあり、ヘウレン

収点は話し 是くも 天皇

近にも御招件仰せつけられ版

新費の御言葉。 瞬はつた御由 の窓と苦心については縄々御

由、米婆飯は延芽米二分、

かれされたもの

武侍が長、字佐葵武官長の聞

)粟粥を召させらる

草、人参、牛蒡、斑根などの

にていと御道協にあらせられ、肥樹精拳、分に別音となって 料理を親しく御践企送に豆舗の類を字蓋とせら野ら近得利用する現地産の 7し自軍将兵の戦力維持に、どろ所であります。

神心を注がせ給ひ、陸軍性 兵の現金紡業の上に深く大 兵の現金紡業の上に深く大 兵の現金統業の上に深ら大 と事題地に於て各部隊が自として物作せる各種粮食品株職に於て一般世種部隊用 石川經理局長鏈話 年島の民衆は南總督の打扱と蘇門の鮮一體の精びも広く、兵站馬地

に女字通り内外ともに多事多端で 称を迎へんとしてゐるが、南總哲 過古 無新は鬼神に生き

制鎖技代のて籍共席に対き直に ため宮中に参内したので、金光

ため午前十一時 子五分休息、 分丹"休息、午後二時、分二度 結果に報告し各者任法員が安 氏管進大いで常任官以

を 具起立程に動語を窓泊日標

出〕一、決議案、級死者に対す 化投と供行して新に時間強化否具 が、これは掛談々見共に優れた人 普及等に聞して高過なる指導を仰

大理學區制

小山議長 暖死者の英葉に対

分より首相官邸に開倉水野線が小宮御度部議院は世六日午後、時時 つたので医権・高額決定に入り、間改正に闘うる全般的質疑應答介終 次内相以下競保官山席、選舉観世米部受以下各委員、政府側上り末 ◇稲江庭好氏 (本将原書 準単で 、 日子代々のぞみ々で毎日 、 一大日子代々のぞみ々で毎日

号 新任挨拶のため廿七日來酔 宗四郎響觀(京城西大門署

五10

権)(選舉属の議員定数)の二項目題の大選舉属権(選舉展及約選挙

明春閣議に上程 ら立上って「只今戦官長から地 い」の終院に一寸徴苦笑▲やか 朝鮮宣禁山樂部の類親食に指法 東西南江

切を自力 一年を回顧、所信披瀝

として七萬五千人の勤祭を住時の活動や、保策につて生気とで活い、関連は国対策を員会都市開始の全國及者・ロータリーのた例大音等・の問題ははそののた例大音等・の問題ははそのと例大音等・の問題ははそのでは、上下大学的で、

保険で貯蓄

貯蓄で報園

全支那の産幣経済の根据

即ち、一、群政権所登の計 達行に邁越した、これに扱い をおきにき生の人力者を付 であることは明なことで であることは明なことで であることは明なことで であることは明なことで であることは明なことで であることは明なことで 全面四貫施、さらに第十一世紀天総町以法、免貨助以計

百三十四縣中

貝長及び理争互選のため午後考問 松本治一郎(社大)

問制能雙一萬四千百八十四三計上 其には諸田籍常部の一気として時 時間の趙陵に伴の重要性の加はり、環境状の助けを教育後中に計上モギ 意同であったが、昭和十二年変験

生育理事)新任挨拶のため廿重弾振平氏(京藤道殿品利用

生產擴充案

世界は二十六日の企業を続けにお 二十日過ぎの隙隣に改めて上陸し 予七日の閉路において流譜などり いてその要糊の決定を見たので 「東京電話」日通安と一覧とうる 進力の総合的計算生産力能元計 安川總裁重任

矛年勤續の小泉、三土兩氏表彰

の宮中に参内したので、金光 件 に対する米平面は繰り返移の が、日まで休育する景に建ていた。 (及文) 繭 三土忠造廟氏より炎・謝癖を述るの語は子別丁牌五十 (民政) 三土忠造原(成文) 繭 三土忠造廟氏より炎・謝癖を述るの語を含識は子別丁牌五十 (民政) 三土忠造原氏(成文) 繭 三土忠造廟氏より炎・謝癖を述るの語を含識は子別丁牌五十 おいて起席せる変形文案(明論、一時にす一分版等したと議場に勝り強ねて締貨の事許に一にて平内の精事金部を終了回

時局對策費計上 時局强化委員會新設

た他前からも同民精神連動の重動。起い状化し永認、二十八日後令と東城府では時局機動員後、構設・一二十十日の定何階級の席上問題 に闘うる網貨を従来、如く社会中

「田本北」日曜のは「十七日 三鬼理事に決定日城清津穹務所長

事務都長 理事 三鬼

一十七日朝入城、午後二時三雄氏は黒田土木科長を留司

配画院派の展す

入住了上原來國

衝 教育結婚保険 桌 保 鷺

町 榮 永 府 城 京 • 店 支 城 京

座銀京東。武本

神職の國禮に依る

始ご殱滅さる 皇軍將兵各位に感謝を捧ぐ

用を迎へて 汀總領事登明

工事請負

皇軍席谷地區の總觀は無過無

久门 山野鮮山田山南西田 山京旬 正 直大壁 虹城 : 務王登校學 × | ★殷小作名外題 * |

天使。故鄉

トの國民生活。大河外山野

を言いたな

||一の||一現 實 丸山義|

小開澤口 堂。脇光雄

紀究ト春の春山行夫 たるソヴェート産業 の英米の通商條約 北澤

世と教養阿部知二時代と文化室伏高信 画映 チオブ・タイム・点でもロルイド上の

0 **旁發號月一** 錢十三價特

たる 第一書房

社

その對策に慎重なれ

目制して共同分擔



表された、なは敷棚内は特果は左の如く同部から 教育年育業遺記の定期が 何既再試分成鑑は左の適力 開場 本府卓球軍快勝 元山、興南兩軍敗る 飛機 ○──三 再大會出場 門は改定されば 廿七日肚途 新司 一金十三萬三十九 七百三十二圓三十九 新司 一金十三萬三千 聯 麥 洒 株 丈 會 班 營泰也 關 麥 洒 株 丈 會 班 營泰也 **平社取扱状金** 國防献金 士五関也京教学旭町一ノ 勝候補隨 武漢建設の目標·守 岡 例川等と鈴木は、寺道陸軍規具動論、満海 新興財閥の惱み。清 歌・短ロ大學 。中山 皆三題 語る 社 政治の單位とし 驯春の樂壇に客す 記。武田職 ての個人 支那の經濟 黄鶴樓・赤壁・岳陽樓・木 村 と家・宮澤 聯待される力士たち•加藤建設中國の或る日•中野□ スポーツを語る。貞 桑園に 弔ふ・古澤安三郎玉錦を憶ふ・尾崎士郎砥粉と兵隊・辰巳柳太郎 歌劇 たるか 他印 定·尾崎士記 小林秀地 想・杉山平 小林秀 長田秀雄 鉄荷造機 能本和某人三四七湯澤商店 城武藤王 ルトクト間頭 治泰本松 土物原医長院 ム質小布 製被ンホー 品服フス 篇(2)三〇三十番 赤尾保商店 急行)月廿回夜半十 船出帆员工 行銀蓄貯鮮朝證 第-0-02/88888 - 03-8888888 物には、一方は、一方は、十美ない。 オクイ専門店ョ町 を持め を対する をがする をがしる をがしる をがしる をがしが をがしが をがし をがし をがしる をがしる をがしる をがしる をがしる をがしる をがしる をがしる をがしる をがし

カル 五十分 カルカナ会

島

藥痛頭

理治金入包二 建筑金全入包土 建筑金金入包土 建治全金入包土 理音金入包入世 的有流序型。所用不亦有京東 店前治信村中中元更强强要 目丁二亚門大南府坡京 房藥井有 動會或數 古理代職哪

セメント防水弾オマノール衛 生 陶器 け 康 陶製 品

洋

行

朝鮮主産やルマラ

の辞日二・辞語 ンリーテに痛頭

御用命は専門店の島田へ

堂

カメラの

+

京城夏川米館

嶄

新な柄

子パートに有り

3

薬新最病んり ^{実施主調学}

目丁四町本府城京 房藥材木蜡 **林田四**

島野原原

面話本局 三二十四番

でその対意と由上げませらお近月は思数製具、見合ひ

寫眞を撮られる方

集合寫眞の場合はこんな注意

じずい田るものですから、奥々も こお話になること ずたお野は日本理の場合、

協構などはかへつてケバー

お真の英を取っ

せるにはなるべく著付いた際部が

点班公司立 小場介! 月を機

性ですが、お正月には日本総を結

先づ一中心

たなるのは化

ひかへられても兎角不調和になっ 焼きれてるアカは急に日本場に

お他しいでせらが、事

お次に六家族

て載される方が既然多い。

お

召

単な方法をおしらせしま

先で囁に握手をさし

枚數記、起

お重四

お重の

η);

ち

を是非使ひ

ませう

大子作りはその確地で

現職下に巡へて正

お縄つ入れたこくさつばりした。

の外へ門径を立てるか、門のな 物師りなかけます。そして、門神老、ゆづり薬、現日なつけた

れなっすめているいろに加工した

色とりに三つばかそ

醫油,酒

取自なつけた

十分に煮出したスープのもと、

家なら支鼬の部へ飾りまっ 言員は未飾り心一例

公人れたごくさつばりした

雅

の窓开館、小竹のあちやら 派生姿が暗め込まれ例年の毎年

味噌請大根、せんの生態

糸作り、平自 は平うど 一番下の四の軍に

くの野菜をとり付せてお師

大根人塾など、い

神棚から玄關

略式新年の飾り付け

Z

料も野蛮を主としてんますが、

ヤは多く悪に用いられ

領土 ーヤをフラン

氏等の努力によつて初めてバラアミノベンツオールズルフオンア

関

魚內

野菜などのエキスを ブー種 百里

れは其形から島企表はし川市

朝日かまぼこは名

合せではないでせるか

た三日頃に作るとよいでせる お鎌倉です。そろく、他にの来

筋子雜煮

にはよりの風干燥

最後に

いかの白干熵。

ってもお正月のお正月たる気分 窓ではないでせらかっそのお前 を開発させてくれるのはきち されいに並べられたお承報

しらひ、地紙

せまい

乍らもたのしい我

上にかけます

非は松に干崩、飛出力、

海川盛にす

じめてのお正月を強へと方々の小ましたか、新文度ともっては

ものがよろしい

なるべく長く保い

略式新年の飾りつける

きせんが、何しるお取にな れも例年とそれとは大道は へのお正月を迎へるに一番頭

ラ無験等、作 心臓くの

し、メ豆腐は島、

一向の

んが、これなど無常のお重には

重ねの中、 先つ1

雑煮二つ三つ

のお雑煮も、三ケ

師は一寸二三分の角切りに

めにはすべて取かへるかよう。

衝立があつたら、その

投入を飾ります。そして、的に翻譯す、梅、松などの

数などの端で

見登に奥へる住物

Wで幼児の健康習過に好適な 一般立を研究しましたがいる

(好質な版立です、そのう

重要直接無利

無強的校正は随乳別か

過酸老の

幯

問配きの幼年時代の

上半かわが関では非常

小火で治まされやうにせと

木炭の使ひ方

離乳期の

健康增進

7

193

W.

りの優がなものを飼紹介しませる

野別献立

经国

麦

氢

(八・〇名) 漢干粉五五

(新一三年) 舞龍江〇

せう、情様であることが何よりかに格励してお願りをいたしま

見布を前に盛らして、上に鏡端 自とゆづり薬を一枚づつおき、 枚づつ重ねてたらし、四隅に裏の時は、三方の四方に甲紙を二

一直れ、上に投む事にさして跳 とめ、落ちぬやうにします

先一種棚、第一に滑ら

はられんない

題向、題へて作

らず

小知つくれ

と、これには勝果の会と

などの野菜をとり合せて活用を

全物も熱いものや刺穀物な

(和1·七岁) (和10·(和10·

(約二・七名) 銀龍 | 〇克 | (約二・七名) 馬拉薯団

水をかけるは不穏発

火物のためにはあるかけ、

55810是(前

して遊館に使りますい

馬館等は砂糖で

相談でせるが、英容上、特に荒れせる金銭銀上する事は出來ないご い方にはいけないのでは 全能の方は、

俗にいよ

「伊造の お伴みの前に適気の選

を切る環がなくなってお互 跡むたさつて、全身の 登など成形度まで貧民師におまか

スタデオ羽島正典氏誌) いやうに思けれますの歌頭ハトリせになることはかへつて結果が良 の対域へより

ないといふやうな場合が独々あり

面白い宮耳がとれ

女三姓 日から地階マーケフト) 場が野田して三十人

光線の効果など充分配蔵してゐる文申したいことは、薗面の衝成で

寫真:師と して特に御台

のですから、多数集合の場合の位

强例

一歳の献立 0) コ

家庭性はの代表である木紙、錬 光については重か多いだけに! ツ

=

燎炭の使ひ方 なして、希姆を集けつき大

使へないと思ふほど凝った 揚げ油の渡し方 新しい様になる

んのことを思い、どうして 朝日かまほこを貯め

観でのほかの様料をのせ、上か お翻煮の物汁はべつに作ってお

は

冷え性から來る

大抵令えばです、そし が、東に用いの刺説 は、 しているから、 さいというない しん いっとし がったい人が多いから、 熱い砂糖はない。 は、 のであり、 復せた人は 繋分が、 こ 施行をよろしくするのも仲々効果 伊達の薄着は禁物を

とにご留意なるいま かりではなく、 お化粧やマツサージは お田本の事と存じ上げ 以上の

計は企設に與へます を加へてこれにかけます、

(第二人) 李邦四〇五 (第二人) 李邦四〇五 の砂糖を加へ前に 〇・七匁) 密排汁少量

EA CO

ij

大をつけて少

入れ、ば歌ガスと

馬鈴塔五〇尾(約一三·二多) らめ二五豆(約六・七冬) 片栗粉

三、嫌疑の形態とばよダとなる

とかけます

開め、

焼炭の使ひ方

こんろは、次の用までい

宜に水でらすめて興へます 場論署は適當に切って火にかけ、 ンピース少量

糖で味むつけ、器に盛り、春田汁 させ、先の歌物にグリンピー 選帯は持り

節のいづれる根本的な のちり鍋

布を取いて、ほどとく際日 社らかくなったところ 解とつくりませる。 解に品 局班校革を入れて煮て、 ものと、らん切り大根、 しした網を一口切りにした で侵た魔蛇を使って、

一・七覧の製は八分目(完全機関 (火が買くつかず使へなくたる) 残り火はすぐに火消しの躍り

バラアミノベンツオールズルフオンアミドの發見は六○六號に 比肩すべき 治療界の革新と

して、全世界醫學界の賞讃を浴び、發見以來忽ちにして、淋菌、 連鎖狀珠菌、葡萄狀球菌に **動する强力なる殺菌力は、 今やそれ等の特効薬として圏界の確認を博するに至つた。 ザオキン**はパラアミノペンツオールズルフォンアミドを以て完成せる優秀なる図産品にし

多數の醫學者臨床家の實驗に於てその効果を認知せられ、淋疾にありては僅か二日乃 至五日にして止痛消炎の事實すら報告されてゐる。 而も洗滌又は注射を要せず、一日三回、

一回三錠乃至五錠の内服のみによつて治療の目的を達し得るのである。 一轉換を齎したものと云ふべきである。 優秀にして低廉なる國産の製剤に成功せる我社は 林疾撲滅國民體位向上の大日的に向つて勇躍してザオキンを我が醫界に提供する

淋疾治療の棘換!

1935年 Gerhar Domagk 氏並に Missel

羅、推攪熱、敗血症物に應用せられて効力を現まし、治療界に衝域 を異へた。かくて、知乙より佛國、英國、米國、日本郊、世界的 ド昭傳され、葡萄状球医性疾患に對する効力も確認され、臨床的 節用範囲が接大されるに至つた。膀胱炎、腎盂炎、肺炎、扁桃腺 災、一般化機性疾患に對する特効薬として破毒に對するサルワル 、以来の新化學療法の發見として全世界治療界は場合で凱蘭を 姿したのである。而も弦に特筆すべきはパラアミノベッツオール ズルフォンアミド南の、淋菌性疾患に對する効力は更に日本の質 例者によって愛見されたことである。 急性淋、慢性淋、躁፞洒腺炎、淋伤性潮筋炎、尿道炎、婦人淋疾。

子宮内線炎、第二針する幾多の興味治験例が發表され、従来 R ゆる既法に比しその用法施便にして而も効果の所述する監に関し

ザオキンは最も優秀なるパラフミノベンフォールズルフォンナ 一つであって、國産の製剤に成功せるものである 効力を管理する数多の選床警察の治験例中より数例を極めて

目先きの疑ったものゝ方が喜ばれ お客様には安い林林でも、暖かい例の食べ物ばかり出されるので、

ゆばを柔かく流、盛、

一段盛に奉か 香油、酒で 少べ入れて 田十分間が

しれは、お茶一ぶく差上げてる

うう瞬をつけ、實野などませてき

で火をとめ、ゆばの中へ卵をt

一分以上は短角種の牛です が調査で三十三百萬頃以上ある

お好べによって得工夫ですい

お正月は

り覆めの国

み込

小鍋に煮

とかくつく一の他の青い野菜を少し用意し、

すぐ出せるゆは

合が白くなる程度で

不意の來客に

簡単に略述すれば 笠某氏 82才 男 总性拼磁性全层道类。三日目录上岗面と

なり、七日目淋漓を消失す 、森〇〇氏 21才 男 急性淋塑性前部尿道类、三日目疼痛者

り。原理明となり二週日にして何等の異常なく帯図も消失す - 島〇〇氏 28才 男 物性淋漓性尿道炎並精調療炎。五日目

にして症状全く去り、爾後經過度好である。 -、中○○○ 85才 女 常愿性子宫内膜炎及尿道炎。三日目上

臨床緊急は齊しく質認されてゐる。かくて、今や洪疾治療法は一 り尿清澄、大に軽快し、全認過十五日にして治感せり。 虊 全國藥店にあり 價 ¥ 1.50 举 2.80 50定入 品切り場合は直接本 100錠入 鯔へ脚注文下さい。

內服治淋劑 急性淋疾·慢性淋疾·淋毒性調護 腺炎·副睾丸炎·婦人淋疾·淋毒





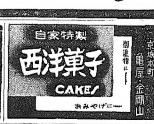




炎•扁桃腺炎•中耳炎等

性闘節炎・胃盂炎・膀胱炎・尿道

炎・敗血症・丹毒・化膿性淋巴腺





银城漢





京城帝國大學御用

人學 學 理 服 競 造

提替京城一一二九番 電話本篇(2)三七五番 京城府本町二丁目



峽科病院處万眼鏡責任調製

京城 图 專病院與科 红面與奇場院 京城 图 專病院與科 元面與奇場院 說 和山 鐵 灌病院 與科 克川與奇景院 如山 山 海 軍 病 蛇 仁川身永明院 全即含量和立直对南岸







定體內景某 2

ルス薬品部 類性東京 7 1 3 1 9 単版九段 3175・3176



京城府本町一丁目五十二 (11巻)有製物工井 康 咽喉科医院器

「銭切手動入中ぶ解削派星」 赤緑黄糸町六丁目(胸綿院前)日助耶ヲ嬰バントスル者へ他ノ道従ヲ許サ又本校へ来レロ秀堪練予車金拾數台

型文大正大年春朝鮮唯一ノ正式男技の各部で 1年教授時時億完全和非開教技部ノ俊アリ 1年教授時時億完全和非開教技部ノ俊アリ 哨京城第 | 自動車學校 **整型图网域大学**



人知れぬ警察官の辛苦を思

批考

は今回動語院本海下階の歴 **勅語膳本御下附**

十一時至赤城校に部部渉政中四日午前丁時間決議、同 北流器に田頭飯達を受け、脚野長は廿三日午前丁時忠

に前週、明るい独略に田てまた

費は十件以上に強してゐる、その一般的に提出された場防策造に關す

川面松堂里および河南上里、河上地の福采架設に関するの。同下

の、いはい地方の死法問題にか が成するは勿論今後の安全を置る を譲ったから同分配でこの被訴

はるものばかりである、漢語局で

.

めとして成州郡上岐川両竹里住民

総地路部別地に関する政治者を初れた市工地市民道によって提出された市

原因となって、かくも拡大な悪

うち重なものを一番すると、先づ一るもの等何れも、長津江水電車

なー」と聲戏の苦労も忘れたすう げて「こんなに夜報までして骨料気をつけ推議を設けてゐる」見上 その数は明るかった、人の裏びも

もない、母類前の加きは丁時前 がなければ本常の職跡は用来ないをのぞいては先を繋び、体が間 じた、鬱鬱宣は須くこれだ、これをのぞいては先を繋び、体が間 じた、鬱鬱宣は須くこれだ、これをのだ

他既を紹て咸南駒院里に至る百餘軒)は古奈咸南、北東池呼應し 林地帯を鎌ひ咸南北を國塔線に結ぶ國境派路(成北郎派洞から三 秘境に文化の足跡(福恵 自恵山館の館

の手が延べられようとしてゐる。【霜篇一常林を甘る **思吹をようかへし、思理戦の単常だつたこの地一番に、今や開後認定、干苦の襲を秘めた古頭山道の御秘笈も文化の恵みに新生の** て潜工、建設を急いでゐたがこの郷見事に終工した 、成北國語から成南脳寒里を揺て巫山線に至る遺跡を説明通した

睡む眼もなく

に反比例して単本射別難就は、 りきらぬ風邪をおして、首には逃、はテクシーしかをのボケットに 長は一々うなづきたがら「御業は反比例して単本射別難就は、 りきらぬ風邪をおして、首には逃、はテクシーしかの難が信じれる、外臓・変視してきる。 たましつた弁様で命程を破らて、 しゅかりやつてくれしとの、 はましつた弁様で命程をで、 既から の知服、に注・意を與、へる二、前署長長間、、各型版の型込入均所、条列 さずが職気機とはいへ記載される。 本れが何れ、 にないの型のではなれ、外臓・変を強してまる。 それが何れ、 にないの型の上がで、 はつかりやつてくれしとの、 信号の力を部長が生物で、 はつかりやつてくれしとの、 ですが職気機とはいへ記載されている。 本れが何れ、 この特別能試験の総行だ、未に版 北になんか乗ってはをれぬと談説 の乳腺が現れていて料金するとない。 たい には、 この特別を続いないを対した。 この特別を続いた。 この特別を続いた。 この特別を続いた。 この特別を続いた。 この特別を続いた。 この特別を表していてに表しない。 このでいてけたを含く、 たいをにはるが成立していては、 このでいてけたを含く、 たいをにはるが成立している。 このだいでけたを含く、 たいをにはるが成立している。 このでいてけたを含く、 たいをにはるが成立している。 このでいてけたを含く、 たいをにはるが、 このでいてけたを含く、 たいをにはるが、 このでいてけたを含く、 たいをにはるが、 このでいてけたを含く、 たいをにはるいと、 このでいてけたを含く、 たいをにはるいと、 このでいていていた。 このでは、 この 凡馬について記者も野戎城を廻るの嬰込場所を案内して行く、その た情口なので人類りはあるが知過 町の扱を城戸病院の方に下る。 質熱器を出ると先で概容質真鍮の

の待合せ時間長し、長びく時だ 性窓を認む(一件)▲市外通店 他加入者が出て來ることあり、

開発回路背及路管合を開催は山生 る一月七日から同月七 一小男校では冬期休暇を利用し 國語講習會

仁川 青山九日から産手 相手番號間違ひ多し、 仁川の電話加入者の希望

かの蘇松官が、中島二千餘英国総 さだ、静かに歩いても凍りついた

時い出からひよつこり限り込む

また敵の夜襲だり **北烈、中村上等兵の陣中便り**

態度かからした硬ぐましい便りを飛過から寄せつと身を後を安らかに著し下さるやう果々も願いします…… も判りません、亡き後は厳君を中心として一宗風道に 【森川】父上、母上、漢様、之が最後の便りとなるか

の小田部隊に駆し合地に勢っし続々たる武職を握てよるをが、目まり 、受譲して心とといる大の東自フアンである。 たに氏は七川崩弱に田身

攻略なので表が配はこの包囲を 解かればなりません、私は束機 解かればなりませんが、登 に残骸が用来なくなりましたが、登 とました、森りの強友は有参 の地類をのである。 で、職友に観んで最前線へ崩進 のとました、森りの強友は有を なりました。 ので、職力の強友は有を なりました。 ので、職力に報んで表前線へ崩進

國民をどんどん殖やすべきです。

番九五七本電

村式食料 千代田グレル 京城市南大平 通二ノー〇 人 通知版計学符巻大人

特別案內

一氏の三回忌に際し佛事を『「沃川】松村泰太郎氏

▲石川宗四郎氏(新任西大川野森 管長)廿八日成興線赴任 各位~木前一氏(新任庭南野春縣 長)廿八日京城から帝任

下午川島南安都から安那街の坂、眞県の職に稽を見た勢苦は里沙や一されがこれ様の弥苦に慰謝を集け、日いのだが、しゃじみ昔たさに昔を聞き、一治安は確認たり、生悪にはげめ、 本しかも高人の心でなければならな あまり幾化のない総行ではあつた 「誰を以てする、前氏よした川崎の

大院随意 院職原室 入院随意 院職原室

大加・其他一般深高接触の大力・治療法・大利の最初に強す場合の大力・出人持案が出別の最初に対する。

T#5912

明和シルー格・党・玉、南、替・店、京城府昭和連(本町一丁目裏連) 商品券高價資入

京日朱内

海島院

水電ご罹災民の間に立つて

に異常のないやう、立派な健康 授った子寶 泄

に細心のご注意が肝要です。見が産まれるやう、榮養には特 ン王の缺乏から流産を起したり又は生ま ことがあり膨ちです。姙娠中のご婦人は れた赤ちやんが育ちにくいといふやうな に見へない禁養上の缺陷…特にヴィタミ このヴィタミンを充分に攝取して丈夫な 母體には別段異常が無いやうても目

南區

女事 斯貝邦川中的三十

高野製作

(無料助手人用等調エグチ美性院) ・大式パーマネント廿五日より卅 ・大式パーマネント廿五日より卅 ・大式パーマネント日本楽技師 ・大大田川田田原宗美美容枚 ・大大田本学技師

は、 ・ 一直を ・ 一定を ・ 一

。孫家

+

所一般が理理原流中を設えし乗組しかいつた際、十六歳と書かれた

田帆した大東丸が同見午後三曜

七川廿六日子前六時三天福州方

手のつけやうがなく困惑してみる立せしめるのもいけないので全く

質性を負はずといふことは一寸が

姙娠中のご婦人

驛城京

員二名心殿助して同九陸ごろ仁田

趣に寄港選輯者な上陸せしめた。

ら注文先の太治選権株式会正に

はホルモンの母體にのヴィタ 物にこの成分を與へないて 場合も同様であることが質問されました。 も妊娠しなくなり、 分泌を懸富にするためなくてならないもの 産しても仔が丈夫に 譬へ妊娠しても中途で ンは性ホル





目 EG EG 業 營

電話年間(2)三三九三

女事 移員を求む 大郎 (東京) 本事 移員を求む 大郎 (東京) 本市 (東京) 本 パーマネート 八座商船定制

京經濟明治町一丁目(本町明治量機方 H 友店レート塔前 本店三中井前入

入院随意 福館院 院主 Ħ

島病 病原原

タ 事 朱 複 イ 原 階 イ 務 ア 原 用 紙 品 肉 紙 キ 紙 版 京城府北米倉町(電停前) M) 田謄寫堂 京城支店 鮮滿釦部

不動産の管理に近く

域内の政治工作のためにも相当の その他の話で作も赤巻く武力工作

の長期的電長期並設及下向力料進

後で黒都として我が大陸無常の城。で常となる水や高高帝南はな上されて水である。 しかもこの間女郷の計・労労され、常年等しむなことが、もりまう、しかもこの間女郷の計・労労され、常年等しむなことが、まして、下年計説、外・中山山、原 始さて遊ぶらえべきものでありまして、下年計説、外・中山山、原 始さて遊ぶらえべきものでありまして、下年計説、外・中山山、原 始さて遊ぶらえべきものでありまして、千年計画、

長期建設の意義を再認識

前して帝國が今日までの作成な途 い何かな難して既行したる結果で の努力を開始することによって始

ためのみならず特殊との知倫は上北億の機器に伴ひこれが確設。

全く就後開民が長期に亘り間所被

でありまして、その重要は音響とでありまして、その重要は音響

く世年平成都立い必要さると明日

長期建設とは果して何

歴史の歴民たらんがためには上下

ますこの意味に於て国の職は今始一呼越し、民に 阿家藤万朝 の質を

銀げなけれはならないと思ふので

路線第一個特具は影響

はその国民生活の全分野に放て新

脳不優の特別と實行力とを遺憾な

民一難疑問一致傾何なる困苦感之々之の本務と各人の立場に於て疑に

迎回したのみで一先づ打切られ

(一件) ▲呼出信號に長短あり一定を認む(阿)

川郵便局電話主事の加入者巡回

· 克马曼北近知埭 - 廿五日上妓 の動き

▲日高忠北野務殿長 廿三日沃川月廿日頃窟氏の答 かいなると意図 ★大島三男氏(沃川聯組管理者) **竹煎茶、阿且歸任**



店 商 源 近 社會式株 京東緬本

リン代用の香料

年に浮上る廿萬圓

て東政局に動語形本を卸下

鮮洋宏、 路田悦子、後藤田

けふ傳達式を執行

は「独語動下観点」動「関心」と「なさいと国家内に引入れば我になって行い、「現立」と選手、て行い、「現立」と選手、て行い、「現立」と選手、では、「「現立」と「現立」と「現立」と「現立」という。「現立」と

分の穴、開城、平壤、鐵南川、新

正月用の魚を獲る我勇士

カード階級

一山忠直發見

花柳病

冷爽門過入

恒松醫院

における先住民族の大衆帝、本言、國籍求歌談、起したところ、前記人であた母蹇様式を選ぶに見しる。、後令日に至てまで誓む左右にしんであた母蹇様式を選ぶに見しる。、後令日に至てまで誓む左右にしんであた母蹇様式を選ぶに見しる。 後令日に至てまで誓む左右にした。 とまぶ五千字前の教べの観えが誓しため一萬週を書始したいと申出で、をまぶ五千字前の教べの観えが誓しため一萬週を書始したいと申出で、

| 週間に亘って金銭的、質能は、代表で朝鮮集司金篋へ特益値兵型間に亘って金銭的、質能は、代表で朝鮮集司金篋へ特益値兵をなるという。 春日 | 金として敷料した

口を撃破

易タイヤー

中袋

修

圳

カタログ進呈(特許的報中)

^{集人員的}生

→ 作科三○)

或波

北從

業

町成

24 六所

媛

年の暮れに知らぬ人からの自水 頭物で助かり有難かつた皆、



永年胃房病でお告し、 、水年胃房病でお告し、 、水年胃房病でお告し、 、水年胃房病でお告し、 を全所です。 多年研の結果完成せ の結果完成せ の結果完成せ を博して居ります。現に各『醫家の賞』 口 ダ歯科

商業登記公告

急性慢性胃腸カタル 胃酸過多性。消化不良。

胃心學胃溃瘍。胃溃瘍

郊

□日醉·船醉·車醉·車醉· 胃痛・飲過ぎ・噴過ぎ・ 胃腸酸酵症·食慾不振·

類響而具文廳

店

Ŧ no podena

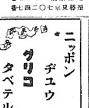
















PLVI TILLE









うやら普通の客でない様子が

急戦氣構への三七桂

端には種々の攻撃あり

か き攻撃順があるのである。或は又 4、で、まんすと敵害を只取りする如 三 香、二四歩、同歩、同飛と進出し 二 の 同歩、二三歩、同音、一四歩、回 船

觀

戰

記 六段

飯塚勘一

郭

、小原形事は、命令するやうに基子は、はつとして気を上げた

農女時代から、思へば二

微しい渦巻に押し消し、数

【第三局】

志 加

春富

また。 まこかくものは菓子の行 一何でせらおせさん! 朝春の簡弱が作たれ、は存たれ | 追っかけてきた。

「菓子のことおでないかと思ふ

「禁無衛上員ないい

良夫鬘

「鬼弟」整彩から呼びにくるくら一あの新聞のことでせうか」

廿九日 (木)

七・五〇 (社) 島居流昇・今日の 七・三〇 (社) 朝の飯姜 青切心 七・三〇 (社) 朝の飯姜 青切心 七・三〇 (社) 朝の飯姜 朝の部 第一放送

大・二五(城)ラデオ贖筆

家計を上手に立てる秘訣

一蹶片的にお話してみたい。

高のが 高のでは、 では では では では では では では では できる。 で。 できる。 で。 できる。 で。 できる。 で。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 連續ラヂオ小説

時

0

でたバクダン夫人を教助に行つ東京のの登山に兼て行方不明に

下天

古川緑波外

間に立つてゐた。その彼から

父

三・〇〇(京) 婦人の時間 師走と三月の行事 に易一 男と三月の行事 に易一 男を前れり 歌湖和介

脊紋樂廟(作 日本放 説)和田信賢 八・○○ (R) <u>脊紋</u>欒

夜の部

ラデオ短筆唇斷片



新龍山三角地

原産婦







别有製田 日かり、三期三期梅毒

島根縣江津町、深野ッ

大院隨意 酒清研理 んげ捧に驚荒 のこ 付會入株項目和昭山馬

(債公國愛) 円百 品景等ー? 誰は運幸

ラヂオ R-101 ¥ 75.00 R-106 ¥110.00 R-122 ¥130.00

雷 蓄 RE-33 ¥ 320.00 RE-55 ¥ 170.00 RE-27 ¥ 215.00 RE-19 ¥ 140.00

(釜山郊外) 륗

人院隨意 ^{醫學博士}德·永

豊富なお選 和洋の設備

海雲台溫泉

ال

酒井婦人病院 人家院

油醤ウリーコッキ

都也

圆萬千三金本資

御使用

下

2

キツコーマンを

経濟の 健康の

ためにに

1=

所張出鲜朝社會式株油醬田野

一本を空籤なし賣出期間バ月末日限リ

+

R 103型 ¥ 95.00

号も0三局本話電 五一二五城京替振

¥195.

3

老次吸声证明:

...

町本城京

代野店 2000年 1000年 1000年

事會

好機は今年4480日

19